

西部地区人権教育実践報告会

令和5年7月31日(月)

会場：ウエスタ川越

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 副実行委員長
(2) 挨拶 西部教育事務所長
実行委員長
(3) 来賓挨拶 川越市長
(4) 人権作文の発表・表彰



- ・「大好きなお兄ちゃん」
- ・「黒だってはだ色」
- ・『『男らしさ』『女らしさ』』
- ・『『普通の人』がない世界』
- ・「私は将来高齢者」

- ふじみ野市立大井小学校 第4学年
三芳町立藤久保小学校 第6学年
坂戸市立上谷小学校 第6学年
ときがわ町立玉川中学校 第3学年
川越市立名細中学校 第3学年

- (5) 閉会の言葉 副実行委員長

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
「女性」 「外国人」	○飯能市の女性の人権に関する様々な取組 ○外国人の人権を考える教育の推進について
「子供」	○ひとりひとりを大切に、共に育ち合う保育を目指して ○体験活動を通し、人権感覚を養い、お互い認め合う生徒の育成
「同和問題」	○互いを思い合い、自分も大切にできる児童の育成 ○吉見町における人権教育の取組について ～お互いの人権を尊重しながら共に生きる社会の実現を目指して～
「高齢者」 「障害のある人」	○高齢者が地域で心豊かに暮らしていくために ～水谷東公民館「熟年学級」における学び合い～ ○文化の違いがあっても共生を目指す国際交流の試み
「性的指向・性自認」 「様々な人権問題」	○自他を大切に学校の実現を目指して ～性的指向・性自認への理解を深める取組を中心とした教育実践～ ○ヤングケアラーの支援について

3 参加者の意見など

- (1) 子供たちの人権作文は、大変感動した。今日的な課題を取り上げた内容が多く、素晴らしいとの声が多数あった。
- (2) 人権について改めて考える機会となった。大変勉強になった。
- (3) 協議することもできて、様々な立場の方と交流ができてよかったという感想が多く寄せられた。自校でも「人権感覚育成プログラム」を使い、生徒や教員の人権感覚を育成していきたいという前向きな意見があった。